

<参考 1> 第 3 回 大型施設計画・大規模研究に関する調査

(1) 既存 43 計画に対する調査

平成 22 年 9 月 24 日
 日本学術会議 科学者委員会
 学術の大型研究計画分科会
 委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成 22 年度） —大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」より提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」（平成 22 年 3 月 17 日）を発出いたしました。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、大型研究計画マスタープランの改訂にあたり、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン 43 計画の修正・アップデートを目的としたアンケート調査を実施いたします（マスタープラン 43 計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい）。

変更・修正が無い場合も含めて、ご計画について下記のウェブよりご回答をお願いいたします（新規に募集される計画との混乱を防ぐため、43 計画専用のウェブとなっております）。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面（G8 関係等）等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成 23 年 10 月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 調査対象

カテゴリA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 回答期間

平成22年9月24日（金）～平成22年12月22日（水）

5. 回答方法

カテゴリAは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0016.html>

カテゴリBは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0015.html>

よりご回答下さい。

カテゴリーA：(大型施設計画)調査項目

0. 変更・修正の有無 (択一選択式)
・有 ・無
1. 分野 (択一選択式)
(1) 人文・社会科学 (2) 生命科学 (3) エネルギー・環境・地球科学 (4) 物質・分析科学 (5) 物理学・工学 (6) 宇宙空間科学 (7) 情報インフラストラクチャー
2-1 前回の、計画の日本語タイトル (2行以内)
2-2 修正後の、計画の日本語タイトル (2行以内)
3-1 前回の、計画の英語タイトル (2行以内)
3-2 修正後の、計画の英語タイトル (2行以内)
4-1 前回の、計画の概要 (簡潔な目標と、主に施設に係わる具体的計画等) (10行以内)
4-2 修正後の、計画の概要 (10行以内)

5-1 前回の、予算規模 (5行以内)
5-2 修正後の、予算規模 (5行以内)
6-1 前回の、年次計画 (5行以内)
6-2 修正後の、年次計画 (5行以内)
7-1 前回の、科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内)
7-2 修正後の、科学的な意義 (10行以内)
8-1 前回の、主な実施機関 (実施の中心となる機関名とその役割) (5行以内)
8-2 修正後の、主な実施機関 (5行以内)

<p>9-1 前回の、実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際共同・協力については次項）（10行以内）</p>
<p>9-2 修正後の、実行組織（10行以内）</p>
<p>10-1 前回の、国際協力・国際共同（共同・協力の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の共同・協力の体制、その他の海外動向など）（10行以内）</p>
<p>10-2 修正後の、国際協力・国際共同（10行以内）</p>
<p>11-1 前回の、計画における国際共同の重要性と問題点（前項の記述を踏まえ、この計画における国際的な共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（5行以内）</p>
<p>11-2 修正後の、計画における国際共同の重要性と問題点（5行以内）</p>

12-1 前回の、準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、（１）中心メンバーによる企画段階、（２）研究者グループの具体的検討による企画書段階、（３）一定の準備資金（明記のこと）を得ての技術開発等開発・準備段階、（４）計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、（５）コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（１０行以内）
12-2 修正後の、準備状況（１０行以内）
13-1 前回の、タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（５行以内）
13-2 修正後の、タイムスケジュール（５行以内）

14 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

ご連絡先 E-mail アドレス:

カテゴリーB：大規模研究計画調査項目

0. 変更・修正の有無（択一選択式）
・有 ・無
1. 分野（択一選択式）
(1) 人文・社会科学 (2) 生命科学 (3) エネルギー・環境・地球科学 (4) 物質・分析科学 (5) 物理学・工学 (6) 宇宙空間科学 (7) 情報インフラストラクチャー
2-1 前回の、計画の日本語タイトル （2行以内）
2-2 修正後の、計画の日本語タイトル （2行以内）
3-1 前回の、計画の英語タイトル （2行以内）
3-2 修正後の、計画の英語タイトル （2行以内）
4-1 前回の、計画の概要（簡潔な目標と、主に設備、ネットワーク構築、データ集積、運営に係わる具体的計画等 （10行以内）
4-2 修正後の、計画の概要 （10行以内）

5-1 前回の、予算規模（初期投資と運営費等の細目をそれぞれ記入）	（5行以内）
5-2 修正後の、予算規模	（5行以内）
6-1 前回の、研究継続期間	（5行以内）
6-2 修正後の、研究継続期間	（5行以内）
7-1 前回の、科学的な意義（期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に）	（10行以内）
7-2 修正後の、科学的な意義	（10行以内）
8-1 前回の、主な実施機関（実施の中心となる機関名とその役割）	（5行以内）
8-2 修正後の、主な実施機関	（5行以内）

9-1 前回の、実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際共同・協力については次項）（10行以内）
9-2 修正後の、実行組織（10行以内）
10-1 前回の、国際協力・国際共同（共同・協力の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の共同・協力の体制、その他の海外動向など）（10行以内）
10-2 修正後の、国際協力・国際共同（10行以内）
11-1 前回の、計画における国際共同の重要性と問題点（前項の記述を踏まえ、この計画における国際的な共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（5行以内）
11-2 修正後の、計画における国際共同の重要性と問題点（5行以内）

12-1 前回の、準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、（１）中心メンバーによる企画段階、（２）研究者グループの具体的検討による企画書段階、（３）一定の準備資金（明記のこと）を得ての技術開発等開発・準備段階、（４）計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、（５）コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（１０行以内）

12-2 修正後の、準備状況（１０行以内）

13-1 前回の、タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（５行以内）

13-2 修正後の、タイムスケジュール（５行以内）

14 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

ご連絡先 E-mail アドレス:

(2) 新規計画に対する調査

平成 22 年 9 月 24 日
日本学術会議 科学者委員会
学術の大型研究計画分科会
委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成 22 年度） —大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」において、学術研究を推進するに当たり、大型の施設を必要とする大型施設計画、あるいは多数の研究者の長期にわたる共同を必要とするなど大分野の根幹となる大規模研究計画について、我が国における企画・推進方策の在り方や、それらの方策を実現するためのシステムの構築に向けた検討を行い、平成 22 年 3 月 17 日に提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」を発出いたしました。本提言の目的・大型研究計画のリストアップ基準・検討の基本的考え方の詳細については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2.pdf> をご参照下さい。本提言の作成にあたっては、学術の大型研究に関する第 1 回(平成 21 年 3 月)及び第 2 回調査(平成 21 年 6 月)のアンケート調査にご協力をいただきましたこと、厚く感謝申し上げます。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン 43 計画の修正及び、新たな計画の追加等アップデートを目的として、第 3 回目のアンケート調査を実施いたします。今回は、ウェブによるご回答をお願いしております。(43 計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい)。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面(G8 関係等)等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながら

ないよう十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成23年10月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 今回の調査対象

カテゴリーA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 募集期間

平成22年9月24日（金）～平成22年12月22日（水）

5. 回答方法

カテゴリーAは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0017.html>

カテゴリーBは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0018.html>

よりご回答下さい。

（計画が複数ある場合は、計画1つずつ、URLにご記入下さい）

カテゴリーA：(大型施設計画)調査項目
(研究計画毎(一件一様式)で作成してください。)

1. 計画のタイトル[英文があれば併記] (2行以内程度)
2. 計画の概要(簡潔な目標と、主に施設に係わる具体計画、予算規模 等) (10行以内程度)
3. 科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内程度)
4. 主な実施機関 (実施の中心となる機関名とその役割) (5行以内程度)
5. 実行組織 (計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項) (10行以内程度)
6. 国際協力・国際共同 (協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など) (10行以内程度)

7. 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金(明記の事)を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（10行以内程度）

8. タイムスケジュール(いつ頃までの実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示)（10行以内程度）

9. 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点（(6)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（10行以内程度）

10. 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス:

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）調査項目
（研究計画毎（一件一様式）で作成してください。）

1. 計画のタイトル[英文があれば併記]（2行以内程度）
2. 計画の概要（簡潔な目標と、主に設備、ネットワーク構築、データ集積、運営に係わる具体計画等）（10行以内程度）
3. 科学的な意義（期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に）（10行以内程度）
4. 予算規模（初期投資と運営費等の細目をそれぞれ記載）と研究継続期間（10行以内程度）
5. 主な実施機関（実施の中心となる機関名とその役割）（5行以内程度）
6. 実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項）（数行以内程度）

<p>7. 国際協力・国際共同（協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など）（10行以内程度）</p>
<p>8. 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金（明記の事）を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（数行以内程度）</p>
<p>9. タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（数行以内程度）</p>
<p>10. 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点（(7)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（数行以内程度）</p>

11. 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス: